

# コンピュータ演習 第11回

今回のテーマも、「**プレゼンテーション**」です。

今回と次回で、まとめの課題に取り組みます。

- リハーサル機能を使って、スライドを自動的に再生しましょう。

## 連絡事項

授業では、eラーニングのシステムを利用します。出席の確認や、課題の提出などに利用します。

- アドレス: <http://elearn.humans.hyogo-dai.ac.jp/moodle/>
- 自宅からでもアクセス可能です

## 今回の内容

### 1. 情報倫理の概説

- 情報倫理について
- プレゼンテーションのテーマの選択

## 今回の課題

- 課題: [情報倫理を啓発するプレゼンテーションの作成](#)
  - (1) テーマの決定
  - (2) プレゼンテーションの作成

# 情報倫理の概説

## 情報倫理について

プリントやeラーニング上での資料をもとに、「情報倫理」全般について説明します。次のポイントに注意してください。

- パソコンやインターネットの操作だけが重要ではない
- 利便性と危険性を十分に理解する
- 背景にある仕組みを理解する
- ネット上のコミュニケーションも現実のコミュニケーションと同じ

## プレゼンテーションのテーマの選択

今回と次回（第11回～第12回）の2回の授業で、情報機器（パソコン、携帯電話、スマートフォン）やインターネットを利用する際の、トラブルや犯罪の危険性を訴える、「啓発」を目的としたプレゼンテーションを作ります。

自分やまわりの人たちの体験、ネット上の資料をもとに、公共広告のテレビCMのような映像作品を制作します。視聴の対象を、高校生から大学生（10代後半～20代前半）とします。

プレゼンテーションで扱う「テーマ」について、下の表から1つだけ選択してください。「関連キーワード」は、テーマに関連する用語や語句で、問題となる現象やその原因などをまとめたものです。

番号	テーマ	関連キーワード
1	個人情報の漏えい	クレジットカード情報の流出、USBメモリやパソコンの紛失・盗難、携帯電話の機種変更、パソコンの破棄、ファイル共有ソフト、アンケートの回答
2	嫌がらせ・誹謗・中傷	荒らし行為、フレーミング、炎上、ネットいじめ、デマ、犯罪予告、匿名性、名誉毀損、業務妨害
3	迷惑メール	ダイレクトメール、スパムメール、チェーンメール、デマメール
4	売買のトラブル	ネットショッピング、ネットオークション、ネズミ講、違法物品や危険物の販売・出品
5	コンピュータウイルス	ウイルス対策ソフト、データの改変・消去・流出、システムの機能不全、ファイルの偽装、スマートフォンでの被害、トロイの木馬、マルウェア
6	不正アクセス	パスワードの管理、セキュリティホールからの侵入、なりすまし、データの改ざん・消去、システムの破壊、ファイアウォール
7	著作権の侵害	文章・音楽・映像・ソフトの違法コピー、キャラクターの無断使用、引用、コピー、動画配信サイト
8	ネット詐欺	架空請求、ワンクリック詐欺、フィッシング詐欺
9	情報の信ぴょう性	クチコミ、うわさ、デマ、流言、拡散、Twitter、Wikipedia、情報源、風評被害

# 第11回の課題：情報倫理を啓発するプレゼンの作成

## 課題の内容

選択したテーマに関するプレゼンを、今回と次回で制作します。

## (1) テーマの決定（今回）

### テーマの選択

プレゼンテーション制作を希望する、「情報倫理」のテーマを1つ決めてください。決まったら、次のようにして希望するテーマに投票してください。

1. 『テーマの選択』をクリック
2. 希望するテーマのチェックボックスをクリックし、「投票する」ボタンをクリック
3. 投票結果が表示される

もし間違えて希望と違うテーマを選択した場合は、再投票すれば、希望するテーマを選択できます。

### 決定したテーマの報告

テーマが決まったら、eラーニングで報告してください。

1. 『第11回の課題』をクリック
2. 『提出課題を編集』ボタンをクリック
3. 『選択したテーマ名』と『選択した理由』を必ず入力して、『変更内容を保存』ボタンをクリック
4. 変更内容が保存されれば、報告完了！

## (2) プレゼンの作成（今回と次回）

今回と次回で、「情報倫理の選択したテーマに関するプレゼンテーション」を作成します。

プレゼンの目的は、テーマに関する危険性や注意点などを「ひとつのストーリー」として説明することで、情報モラルを訴えるということです。

作品には、次のようなルールを決めておきます。

1. 視聴対象は、高校生から大学生(10歳後半～20歳前半ぐらい)
2. スライドの枚数は、6枚以上(多くても8枚まで)
3. スライドの構成は、場面ごとに考える
  - 第1場面:表紙(タイトル、学籍番号、氏名:スライド1枚)
  - 第2場面:起承転結の「起」
  - 第3場面:起承転結の「承」
  - 第4場面:起承転結の「転」
  - 第5場面:起承転結の「結」
  - 第6場面:まとめ(スライド1枚)
4. プレゼン全体を、「30～60秒程度」で再生する
  - 「スライドショーを自動的に実行する」(次回説明)を参考にすること
  - 見た人が内容を理解できるように、スライドの切り替えやアニメーションの時間配分に注意
5. 第6場面は、それまでの内容の解説や注意点を文章でまとめる

## ファイルの保存

---

編集ができれば、次のようにして、ファイルに保存してください。

1. メニューから「ファイル」 「名前を付けて保存」をクリック
2. 保存する場所に「マイドキュメント」を設定
3. ファイル名に「1212」+「学籍番号」+「.pptx」を設定(半角文字で)

◦ 例:学籍番号がX2131000の場合、ファイル名は「1212x2131000.pptx」

### 課題の提出

---

この課題は、**次回(第12回)の授業**で提出してもらいます。注意してください。